

第5学年国語科学習指導案

日 時 平成28年9月30日(金)
児 童 男10名 女9名 計19名
指導者 竹林 直美

- 1 単元名 すぐれた表現に着目して、物語のみりよくを伝え合おう (光村5年)
教材名 「大造じいさんとガン」 椋 鳩十 作

2 単元で付けたい力

5・6年生の「読むこと」の目標は、「目的に応じ、内容や要旨をとらえながら読む能力を身に付けさせるとともに、読書を通して考えを広げたり深めたりしようとする態度を育てる。」である。また、指導事項に、「エ 登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。」「オ 本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすること。」がある。

これを受けて、本単元では、児童に身に付けさせたい力を次のように考えた。

- 登場人物の相互関係や行動・心情を表す情景描写を捉え、自分の考えをまとめる力
- 本を読んで考えたことを話し合い、自分の考えを広げたり深めたりする力

3 単元の指導にあたって

児童はこれまで文学的文章の解釈を一人一人の登場人物の行動や性格にもとづき、場面の展開に即して変化する気持ちを中心にとらえてきた。5年生「あめだま」「なまえ付けてよ」では、場面の移り変わりに注意しながら登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて読んだり、人物同士の関係の変化を読み、感想を交流したりしてきた。また、説明的文章「生き物は円柱形」では筆者の考えを捉え自分の考えを発表するなどした。「千年の釘にいどむ」では、POP作りを通して本の面白さを伝え合う活動をしてきた。それらの学習を通して、文章を読んで、自分の考えをもつ事ができるようになってきている。そして、伝え合うことに楽しさを感じる児童も多くいる。ただ、物語の叙述に即して考えを広げたり深めたりまとめたりする力についてはまだ課題がある。また、正しく読み取る能力について個人差があるので手立てが必要である。

本単元は、登場人物の相互関係や行動・心情を表す情景描写を捉え、自分の考えをまとめる力とともにそれを発表し合い、考えを深めたり広げたりする力を付けるために、魅力解説カードを作りながら魅力を伝え合う言語活動を設定した。魅力に気づき、伝え合うためには、本の魅力がどんどこから感じられるのか、それはどうしてか、教材を読んで考えをまとめなくてはならない。教材文「大造じいさんとガン」は、語り手である私が残雪との3年間にわたる戦いの様子を大造じいさんの視点で語るという構成で書かれている。大造じいさんが残雪との戦いに年々闘志を燃やしていく様子や憎らしく思っていた残雪に対して尊敬の念を抱くようになっていく心情の変化を児童は大造じいさんと同化して読み進めていくことができると思われる。

また、作品には場面の転換や物語の山場の部分などに、大造じいさんの心情を表す情景描写が描かれている。大造じいさんの心情を表すような秋の日の光やあかつきの光などの自然描写、さらに戦う残雪の行動描写の巧みさなどが、児童を物語の世界に引き込んでいくと思われる。そういう本作品のたくさんの特徴にふれながら本作品の魅力に気づき、自分なりの解釈と感想をまとめることができると思われる。また、その感想を友だちと交流することによって、自分

の気づかなかった本作品の魅力に気づいたり、自分の読みを再構築したりできるだろう。

指導に当たっては、身に付けたい力を付けるために「魅力を伝えよう」という学習課題を設定し、単元を貫く言語活動とする。その際には次の3つに留意し進めたい。

1つ目は、作品の魅力に気づくには、同一作者の他の作品に触れることも大事であるので、椋鳩十のブックトークを教師が行い、並行読書をさせながら意欲をもたせる。多くの椋鳩十作品の魅力にふれさせたい。

2つ目は魅力を伝え合うために、自分の伝えたいことを明確にさせることである。魅力解説カードを作りながら作品の表現の魅力に気づき、友達の考えにも触れ、自分の感想をもたせ交流させたい。

3つ目は、作品の魅力に気づくような読みの視点を本単元では「登場人物」「特徴ある情景描写」「大造じいさんの心情の変化」の三点とし、全体で扱う。これは魅力カードに全員が書く内容でもある。

【言語活動の工夫・改善】

(1) 登場人物の相互関係や行動・心情を表す情景描写を捉え、自分の考えをまとめるために

- ① 魅力解説カードに読みの視点を基に書かせ、その根拠となる叙述を明らかにさせる。
- ② 考えに自信を持ってない児童も交流によって自分の考えを明確にさせる。

(2) 自分の考えを広めたり深めたりできるように

- ① 交流形態を工夫し、話し合いの手引きを使って話し合わせる。
- ② 椋鳩十の作品を並行読書し、本の魅力にふれさせる。

【振り返る活動】

- ① 単位時間ごとに、学習したことについて自己評価させるとともに教師が学びの価値付けをする。
- ② 本の魅力を「どのような表現に着目してきて見付けたか」、「友達の考えを知って新たに気づいたことはどんなことだったのか」を振り返る。

4 単元指導計画（7時間）

単 元 目 標	◎人物の心情や場面の様子を表す表現を味わいながら読もうとしている。【関】	
	◎登場人物の相互関係や行動・心情を表す情景描写を捉え、自分の考えをまとめることができる。 【読（1）エ】	
評 価 規 準	○本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。【読（1）オ】	
	○語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもつことができる。【伝イ カ】	
	関心・意欲・態度	読むこと
	・人物の心情や場面の様子を味わいながら読もうとしている。	・人物の心情や場面の様子を表す表現を味わいながら読もうとしている。 ・登場人物の相互関係や行動・心情を表す情景描写を捉え自分の考えをもっている。（1）エ ・本の魅力を伝える交流で感想を伝え合っている。（1）オ ・言葉や表現に気を付けて様子を想像している。（1）イ カ

【学習計画】（全7時間）

次	時	学習内容	指導上の留意点 ◆言語活動の工夫・改善	評価規準
1	1	<ul style="list-style-type: none"> ○人物の心情や場面の様子を味わいながら魅力を伝えるための計画を立てる。 ・椋鳩十作品のブックトークを行い、関心をもつ。 ・魅力を伝える魅力解説書について知る。 ・学習計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○課題を把握し学習の見通しを持たせる。 ○魅力の観点について考える。 ○教師がモデルの魅力解説書を紹介し、活動のイメージを持たせる。 ○読みの視点を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本の魅力の魅力解説書を用いて伝えるという意欲を持ち、学習計画を立てている。（観察・発言） 【関】
	<p>本魅力を伝えよう。</p>			
2	2	<ul style="list-style-type: none"> ○話の構成をつかみ、大体をつかむ。 ・前書き、場面の構成 ・登場人物 ・出来事 	<ul style="list-style-type: none"> ○構成や登場人物などについてまとめる。 ◆交流をし、自信をもって書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○魅力解説書の方法を知り、おおまかな話を読み取っている。【読、】
	3	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物像の魅力を読む。 ・人物像についてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○登場人物像を叙述に即して自分なりに解釈する。 ○人物像や関係が分かるところにサイドラインを引いたり付箋に書いたりする。 ◆小グループで交流し、考えを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「大造じいさんとガン」の魅力を見付け考えをもっている。（発言・魅力カード【読】
	4	<ul style="list-style-type: none"> ○魅力ある情景描写について 	<ul style="list-style-type: none"> ○心に残る情景の様子を見付け、サイドラインをひき、そこから読み取れる心情や読み手に与える感動を書く。 ◆小グループで交流し、自分の考えを広げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○「大造じいさんとガン」の魅力を見付け考えをもっている。（発言・魅力カード） 【読】

2	5	<p>○魅力ある登場人物の心情の変化を読む。</p> <p>・大造じいさんの心情の変化をそのきっかけとともにまとめる。</p>	<p>○残雪に対する大造じいさんの心情が変わったところについて自分なりの解釈をする。</p> <p>◆小グループで意見を交流し、広げ、深める。</p>	<p>○「大造じいさんとガン」の魅力を見つけ考えをもっている。(発言・魅力カード)</p> <p>【読】</p>
	6	<p>○魅力ナンバー1を見付ける。</p> <p>・魅力キャッチコピーを作る。</p>	<p>○自分のこれだと思う魅力を叙述をもとに書きまとめる。</p> <p>3つの視点の他にあってもよい。</p>	<p>○「大造じいさんとガン」の魅力を見付け考えをもっている。(発言・魅力カード)</p> <p>【読】</p>
3	7 (本時)	<p>○本の魅力を交流し合う。</p>	<p>○魅力のもとになる叙述を明らかにしながら交流する。</p> <p>◆自分の考えを広げたり深めたりする。</p>	<p>○魅力解説書を交流し合い、友達との考えの共通点や相違点に気づいている。【読】</p> <p>(交流・魅力カード)</p>
	課外	<p>○平行読書していた椋鳩十作品の魅力について発表する。</p>	<p>○帰りの会のスピーチの時間に行う。</p>	

5 本時の指導

(1) 目標

「大造じいさんとガン」の魅力を、印象に残った表現とその理由についてまとめ、交流しよう。

(2) 展開

	学習活動・学習内容	・指導上の留意点 ◆言語活動の充実を図る工夫・改善
導 入 5 分	1 前時までの学習を想起する。 2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">「大造じいさんとガン」のみ力ナンバー1を伝え合おう。</div> 3 課題解決の見通しをもつ。	・みんなで交流してきたこの話の魅力のあるところを振り返る。 ・学習の流れを確認する。
展 開 35 分	4 課題を解決する。 (1) 「大造じいさんとガン」の自分が発見した魅力ナンバー1を確認する。 (2) 魅力を伝える際のポイントを確認する。 ・自分の考えを伝える。 ・根拠となる叙述を明らかに。 ・ふさわしい言葉を吟味する。 (3) 交流する。 ・グループで交流する。 ・全体で交流する。 ・自分の考えをまとめる。	◆交流形態を工夫し、話し合いの手引きを使って話し合わせる。これだという魅力を大まかに決めさせておく。 ・教師のモデルを提示し、叙述に基づいて考えをもたせるようにする。 ・「言葉の玉手箱」や推薦するための語彙などを利用し、伝える。 ・迷っている児童には、今までのリーフレットや教材文を参考にさせる。 ◆教材文の見方や、考えを広げることが出来るよう交流の場を設定する。 ・新たに気づいたことや更に深まった考えを付け足しさせる。
終 末 5 分	5 学習を振り返る。 ・感想を発表する。 6 次時の学習を知る。	・児童が頑張った点を評価し、次時への意欲を高める。 ・今度は、椋鳩十作品のほかの作品の魅力について交流し合う。

(3) 評価

「大造じいさんとガン」の魅力を考えて、交流し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。

6 板書計画

